

障害者総合福祉サービス法の展開と展望

～ これからを考える視点と課題 ～

講師： 茨木 尚子 氏 (明治学院大学教授)

日時： 2009年12月23日 (水・祝)

13:30～16:45 (受付 13:00～)

会場： 港区立障害保健福祉センター

竹芝小ホール(7階)

障害者自立支援法施行後、全国で障害当事者の生活実態が浮き彫りになるにつれて、その影響や問題が当事者や家族、支援者へと拡大しました。サポート研では、「本人中心の支援」「どんなに障害が重くても地域でその人らしく暮らす」ことを求めて、支援のあり方について検討を重ねてきました。それらの議論の中で、社会福祉基礎構造改革とは何だったのか、高い理念を謳って基本的な枠組みの転換を図ろうとした「改革」は果たして当事者の権利を護ることになったのかといったことも話し合われてきました。

そこで、その時々直面している課題をテーマとし、テーマにふさわしい専門的研究者を講師としてお招きする合同研究会において、この度の政権交代によって障害者自立支援法が廃止されることとなった今、新たな制度への提案として注目を集めている「障害者総合福祉サービス法」について学ぶこととしました。今までの課題や問題提起を振り返り、検証してきた制度の在り方に、どれだけ近づく事ができるのか？という現実と展望について、明治学院大学教授の茨木尚子氏をお招きしてご講演を頂いた後、ご参加の皆様とディスカッションを行いたいと思います。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

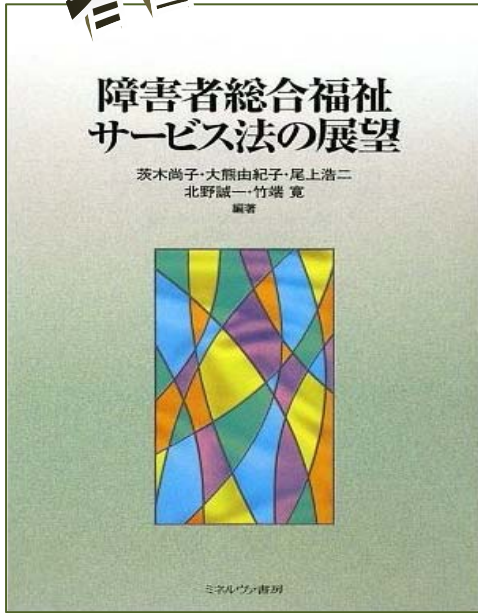
13:00	(受付開始)
13:30	講 演 : 茨木 尚子 氏【明治学院大学教授】
15:00	(休 憩)
15:15	ディスカッション : <コーディネーター> 赤平 守 氏 サポート研代表幹事 <コメンテーター > 茨木 尚子 氏
16:45	(終了予定) 終了後懇親会を予定しています

- * 合同研究会は会員を対象にしています。参加費は無料です。(非会員の方は資料代 1,000 円)
- * 準備の都合上、ご出席の方は FAX にて事前の申し込みをお願いいたします。



お問い合わせ:サポート研事務局
川崎市川崎区京町 2-24-4-608 (〒 210-0648)
電話/FAX 044-271-8788
メール support-ken@forest.ocn.me.jp

著書案内



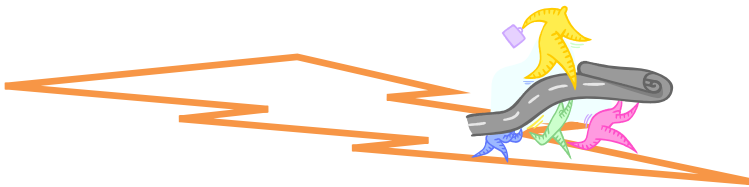
障害者権利条約の理念の実現において、自立生活支援と地域社会へのインクルージョンを支える新たなシステムを提唱する。

- 第1部 総論（ソーシャルインクルージョンとは何か；社会的排除に対する人権保障枠組みの拡大—インクルーシブな社会構築において；戦後の障害者運動から見た障害者福祉法のあるべき方向）
- 第2部 1990年代の障害者サービスの展開とその問題点（措置制度；八法改正以降の地域生活の実践；精神障害者、知的障害者の地域自立への取り組み；社会福祉基礎構造改革の展開と問題点；介護保険制度成立の背景）
- 第3部 2000年以降の障害者サービスの展開とその問題点（支援費制度と障害者自立支援法；障害者福祉サービスと介護保険；要介護・障害程度区分認定システム；ケアマネジメントシステム；カリフォルニア州の障害者支援サービスの展開—IHSSとRCの支援サービスを中心として）
- 第4部 わが国の「障害者総合福祉サービス法」の展開（障害のある人の権利に関する条約と障害者自立支援法—条約上の「自立生活条項」からの検討；法の全体像と「障害者基本法」「障害者差別禁止法」との関係；法の基本的理念・目的；障害の定義と法の対象；支給決定の仕組み；サービスの範囲と概要、地域移行；不服申立てシステムと権利擁護システム；障害者総合福祉サービス方における財政システム）

茨木尚子・大熊由紀子・尾上浩二・北野誠一・竹端寛 [編著]

アクセス

JR 浜松町駅より
都営地下鉄浅草線・大江戸線 大門駅より
いずれも徒歩 約 12分 (37kcal)



平成21年12月23日(水)の合同研究会に参加します。

→ FAX 送付先 044-271-8788

おなまえ	
所属	第 研究委員会 or 所属していない
連絡先	TEL FAX
懇親会	参加 or 不参加 (どちらかに○をつけてください)
ご意見欄 (自由にお書きください。ディスカッションで活用させていただきます)	